

成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	16	9.00	56.06
中等症	53	13.79	81.58
重症	－	－	－
超重症	－	－	－

【説明】

市中肺炎とは、普段の社会生活の中でかかる肺炎のことです。

A-DROPスコアを用いて、重症度を分類しています。

<A-DROPスコア>

下記5つのチェック項目に該当した項目を、1項目1点としてカウントします。

点数が高いほど、重症度が高くなります。

- A（年齢）：男性70歳以上 女性75歳以上
- D（脱水）：BUN(尿素窒素) 21m g / d L以上、または脱水あり
- R（呼吸）：Spo2（酸素飽和度）90％以下（PaO2（動脈血酸素分圧）60Torr以下）
- O（見当識）：意識障害あり
- P（血圧）：収縮期血圧 90mmHg以下

【解説】

令和6年度は中等度の症例が多くありました。前年と比較して、全体の症例数は増加しています。
中等症の患者さんは、平均年齢が80歳を超えています。